



中小企業の景況

平成21年度第1・四半期

(平成21年4月~6月)

目 次

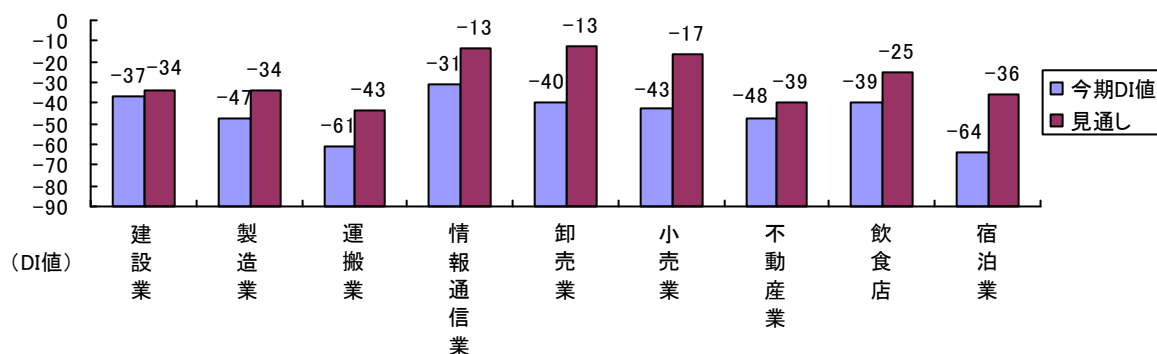
業況DI・見通しDI	1
売上高DI	2
採算(経常利益)DI	2
資金繰りDI	3
雇用人員DI	3
景況指数表	4
調査の概要	5

港区産業・地域振興支援部

調査実施機関 株式会社 東京商工リサーチ

業況DI・見通しDI

業況：いずれの業種も水面下にあり、製造、運搬、不動産業の低迷が目立つ
見通し：一般的に改善の見通し、特に卸売、小売業は大幅に改善が期待される



	前 期	今 期 (21.4~6)	増 減	今後3ヶ月の 見通し
建設業	-	-37	-	-34
製造業	-	-47	-	-34
運搬業	-	-61	-	-43
情報通信業	-	-31	-	-13
卸売業	-	-40	-	-13
小売業	-	-43	-	-17
不動産業	-	-48	-	-39
飲食店	-	-39	-	-25
宿泊業	-	-64	-	-36
総 合	-	-44	-	-28

4月～6月の港区中小企業の業況DI（業況が「良い」とした企業割合－「悪い」とした企業割合）は、▲44となった。今後3ヶ月間（7月～9月）の業況見通しDI（今期（4月～6月）に比べて「良い」とした企業割合－「悪い」とした企業割合）は▲28と、今期に比べ16ポイント増と大きく改善すると見込まれている。

業種別の業況DIをみると、いずれの業種も水面下ながら情報通信業は▲31と最も高い数値を示した。続いて、建設業が▲37、飲食店（▲39）、卸売業（▲40）、小売業（▲43）と続き、製造業は▲47、不動産業は▲48となった。運搬業は▲61、宿泊業は▲64と全業種の中でもかなり厳しい状況となっている。

業種別の見通しDIは、全ての業種で改善。特に卸売業（▲40→▲13）は27ポイント、小売業（▲43→▲17）は26ポイント、宿泊業（▲64→▲36）は28ポイント増と、非常に改善すると見込まれている。

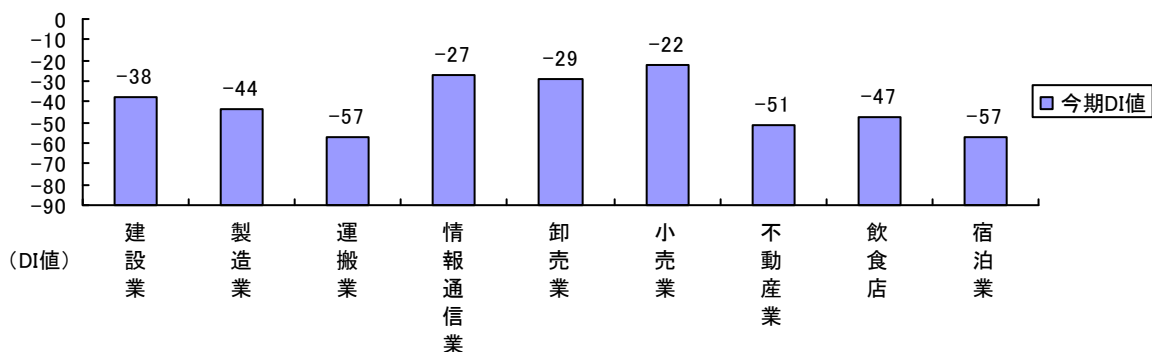
【注】

○D. I (Diffusion Indexの略)

D. I (ディーアイ) は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

売上高DI

売上高は、いずれの業種も水面下にあり、運搬、不動産業の低迷が目立つ

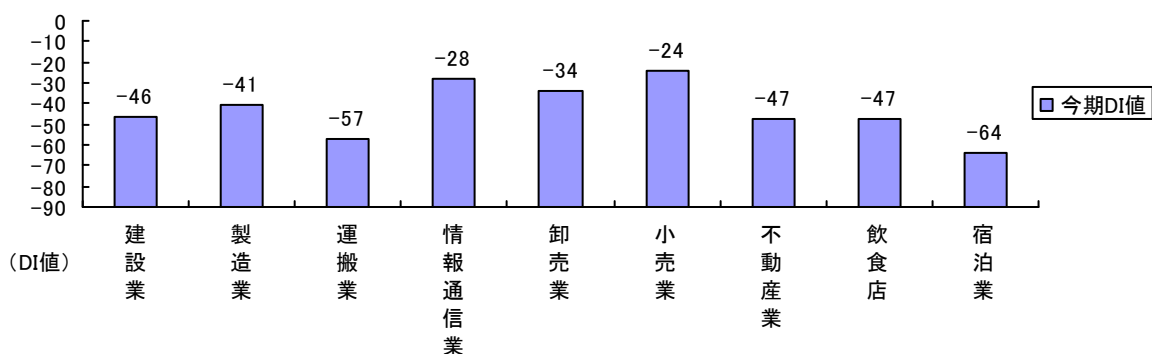


4月～6月の港区中小企業の売上高DI（売上高が「増加」とした企業割合－「減少」とした企業割合）は、▲40となった。

業種別の売上高DIをみると、いずれの業種も水面下ながら小売業は▲22と最も高い数値を示した。続いて、情報通信業が▲27、卸売業（▲29）、建設業（▲38）、製造業（▲44）、飲食店（▲47）、不動産業（▲51）、運搬業と宿泊業が▲57と続いた。

採算（経常利益）DI

採算（経常利益）は、いずれの業種も水面下にあり、運搬業の低迷が目立つ

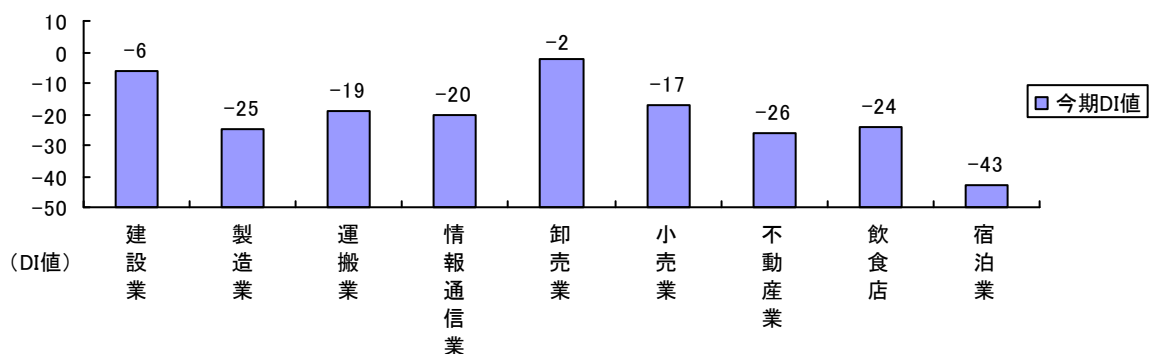


4月～6月の港区中小企業の採算（経常利益）DI（採算（経常利益）が「増加」とした企業割合－「減少」とした企業割合）は、▲41となった。

業種別の採算（経常利益）DIをみると、いずれの業種も水面下ながら、売上高DIも一番高かった小売業が▲24と最も高い数値を示した。続いて、情報通信業が▲28、卸売業（▲34）、製造業（▲41）、建設業（▲46）、不動産業と飲食店が▲47、運搬業（▲57）、宿泊業（▲64）と続いた。

資金繰りDI

資金繰りは、いずれの業種も水面下であり、飲食店、製造、不動産業の窮屈感が強い

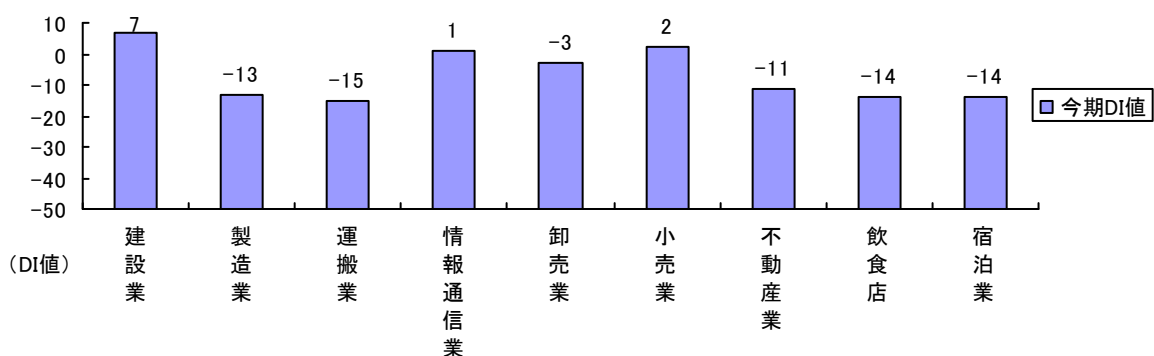


4月～6月の港区中小企業の資金繰りDI（資金繰りが「良い」とした企業割合－「悪い」とした企業割合）は、▲18となった。

業種別の資金繰りDIをみると、いずれの業種も水面下ながら、卸売業が▲2と最も高い数値を示した。続いて、建設業が▲6、小売業（▲17）、運搬業（▲19）、情報通信業（▲20）、飲食店（▲24）、製造業（▲25）、不動産業（▲26）、宿泊業（▲43）と続いた。

雇用人員DI

雇用人員は、建設、情報通信、小売業が増加傾向、その他の業種は減少傾向



4月～6月の港区中小企業の雇用人員DI（雇用が「増加」とした企業割合－「減少」とした企業割合）は、▲6となった。

業種別の雇用人員DIをみると、建設業が7と最も高く、小売業（2）、情報通信業（1）も増加傾向の数値を示している。以下、卸売業が▲3、不動産業（▲11）、製造業（▲13）、宿泊業と飲食店が▲14、運搬業（▲15）という結果となった。

景況指数表

・指標値 (%) : DI = 「良い」・「増加」等企業割合 - 「悪い」・「減少」等企業割合

調査規模	調査対象企業数	2,824	4~6月の景況					今後3ヶ月間の見通し
	回答企業数	827	業況	売上高	経常利益	資金繰り	雇用人員	業況
	回答率	29.3%						
全 体			▲ 44	▲ 40	▲ 41	▲ 18	▲ 6	▲ 28
建設業			▲ 37	▲ 38	▲ 46	▲ 6	7	▲ 34
製造業			▲ 47	▲ 44	▲ 41	▲ 25	▲ 13	▲ 34
運搬業			▲ 61	▲ 57	▲ 57	▲ 19	▲ 15	▲ 43
情報通信業			▲ 31	▲ 27	▲ 28	▲ 20	1	▲ 13
卸売業			▲ 40	▲ 29	▲ 34	▲ 2	▲ 3	▲ 13
小売業			▲ 43	▲ 22	▲ 24	▲ 17	2	▲ 17
不動産業			▲ 48	▲ 51	▲ 47	▲ 26	▲ 11	▲ 39
飲食店			▲ 39	▲ 47	▲ 47	▲ 24	▲ 14	▲ 25
宿泊業			▲ 64	▲ 57	▲ 64	▲ 43	▲ 14	▲ 36

調査の概要

1. 調査時期 平成 21 年 7 月
2. 調査方法 電話取材調査
3. 調査の対象と回収状況

	調査対象 企業数	有効回答 企業数	回答率 (%)
建設業	309	106	34.3%
製造業	369	104	28.2%
運搬業	324	106	32.7%
情報通信業	311	109	35.0%
卸売業	368	101	27.4%
小売業	360	84	23.3%
不動産業	359	99	27.6%
飲食店	360	104	28.9%
宿泊業	64	14	21.9%
合計	2,824	827	29.3%

港区産業・地域振興支援部
〒105-8511 東京都港区芝公園1丁目5番25号
TEL 03(3578)2111